

実施期間:令和5年11月13日~20日
対象企業:10社

高山駅西地区複合・多機能施設整備基本計画策定に係る
民活導入ヒアリング調査結果について
(市内事業者)

令和6年1月

1. 目的

目的

事業規模、民活導入等、新規性の高い整備手法に関する
市内業者の対応力・課題を整理

ヒアリング調査

- ①高山駅西事業に関する地元企業の対応力は？
- ②参画可能性を有する整備手法は？
- ③民活導入に関する地元企業の課題は？

2. 本事業への地元PPP・PFI対応力

回答企業	評価コメント
企業①	市内企業では、設計分野で対応不可
	民活導入の実績がほとんどない
	異業種による体制づくりが困難
企業②	経験やノウハウが不足
企業③	異業種による体制づくりが困難
	技術力及び人材が不足
企業④	資金調達が困難（融資不成立）
	運営に関するノウハウがない
	市内企業の参画事業者が不透明
	具体的なスキームが分かれば機運が高まる
企業⑤	運営に関するノウハウがない
	設計・施工双方ができる市内企業はない
企業⑥	民活スキームの実績がなくハードルが高い
	SPCの構成員として出資は困難
企業⑦	市内企業では、設計分野で対応不可
企業⑧	市内企業では、性能発注に順応できない



- ◆実績・人材不足
- ◆技術力不足（特に設計）
- ◆アライアンスが困難
- ◆性能発注への対応困難
- ◆出資・融資が困難



- ◆スキームの明確化による機運醸成



対応が
困難



ネガティブな意見のウェイトが高い

総合
評価

PPP・PFIの実績・技術力不足を主因とし、
対応が困難との意見が多数

3. 参画可能な整備手法

回答企業	評価コメント
企業①	PFIの場合は地元企業が参画できない
	従来方式を期待（経済の域外流出防止）
	ゴミ処理施設スキームがよい
	DB方式+地元業者参画を期待
企業②	参画する場合は協力企業が現実的
企業③	地元企業で実施したい
企業④	ごみ処理施設が参考になる
企業⑤	従来方式が妥当
	参加条件をしっかりと検討

先行事例の活用

- ✓ ゴミ処理施設のスキーム（DB）を評価

期待するスキーム

- ✓ 従来方式（PFIは地元参画困難）

現実的な参画方法

- ✓ 協力会社（下請け）として参画



地元参画可能性アップの
観点で従来手法を期待

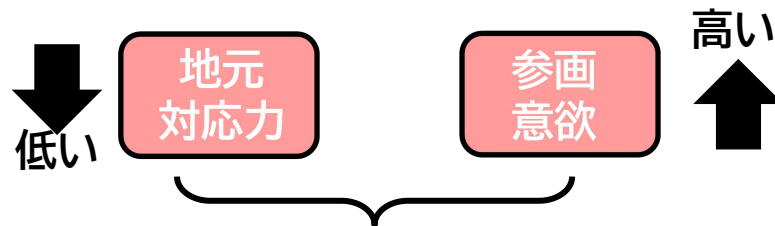
総合
評価

受注機会確保の観点で従来方式及びDBを期待する声が散見

4. 市内企業の現状・意欲を踏まえた課題と解決策

回答企業	評価コメント
企業①	大手ゼネコンとの連携方法がわからない
	マッチング機会があれば参画したい
企業②	大手ゼネコンとの連携が困難（経験不足）
	JVを組む相手を探せない（アンテナがない）
	情報提供は期待している

地元対応力と参画可能な整備手法のヒアリング結果



方針

事業規模・整備内容の観点で
市外業者の参画が必要

課題

参画グループ組成に係る事業情報・ネットワークがない

総合
評価

市外事業者とのアライアンス支援など
市内外をつなげる仕組みの検討が必要